

# 小学校第1学年国語科学習指導案

日時：令和3年10月29日（金）5校時  
児童：男子16名 女子10名 計26名  
指導者：金澤 伊代

- 1 単元名 おもいうかべながらよもう  
教材名 「くじらぐも」（光村図書 1年下）

## 2 単元について

### （1）教材について

本教材の「くじらぐも」に登場する子どもたちは、児童と同じ1年生である。そのため、児童は、くじらぐもと子どもたちのしたことを順に追いながら、仲良くなっていく様子を、叙述と挿絵をもとに想像豊かに読み取ることができる。また、本文には会話文や動きを表す言葉が多く、読み取ったことを生かして動作化や音読をすることができる教材である。

### （2）児童について

本学級の児童は、「おおきなかぶ」「おむすびころりん」の学習で、叙述と挿絵を手掛かりに場面の様子や登場人物の行動などを読み取ったり、登場人物の行動を想像したりしながら、物語を楽しく読む学習を進めてきた。しかし、叙述をもとにして想像したことを自分の言葉で表現したり、工夫して音読したりする力はまだ十分ではない。主語と述語に着目して内容を正しく読み進めるとともに、想像豊かに吹き出しに書くことができる力を育てていきたい。

### （3）指導について

本単元で付けたい主な力は、「場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる」力である。

本単元の言語活動を、「音読発表会をしよう」に設定した。単元のまとめとして、「くじらぐも」の音読発表会をし、2年生に見てもらう。単元の導入で音読発表会を行うことを知らせ、相手意識をもたせながら音読練習をさせる。自分たちが想像したことをもとにセリフを考えたり、動作化や会話文の読み方などを工夫したりすることを通して、主体的に学習に取り組ませることができると考えた。

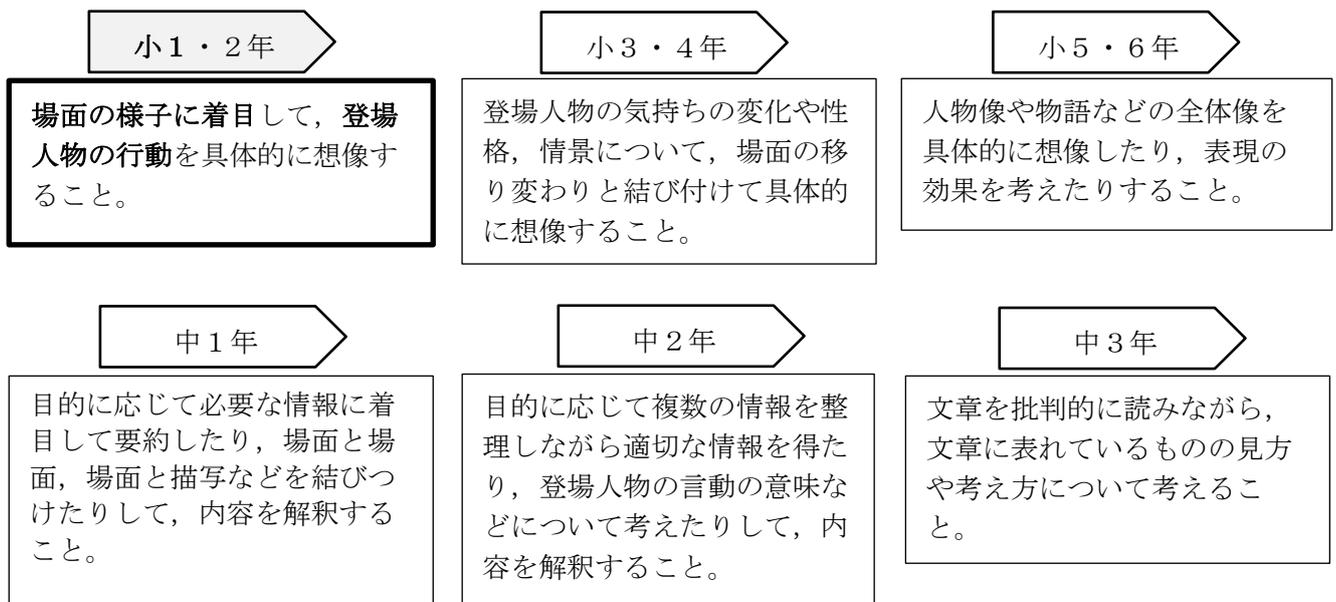
## 3 単元の目標

- （1）かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。  
[知識及び技能] （1）ウ
- （2）語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。  
[知識及び技能] （1）ク
- （3）場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。  
[思考力、判断力、表現力] C（1）イ
- （4）場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。  
[思考力、判断力、表現力] C（1）エ
- （5）言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。  
[学びに向かう力、人間性等]

#### 4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① かぎ（「 」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。（(1)ウ） ② 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。（(1)ク）	① 「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。 (C (1) イ) ② 「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 (C (1) エ)	① 進んで、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、今までの学習を生かして、想像したことを友だちに伝えようとしている。

#### 5 発展と関連（読むこと・精査解釈）



#### 6 単元の指導計画（10時間）

次	時	目標	学習活動	主な評価規準
一	1	教材文を読み、内容を捉えるとともに、学習の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 題名からどんな話なのか想像する。</li> <li>・ 初発の感想を書く。</li> <li>・ 音読発表会をすることを知る。</li> </ul>	
	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お話の大体を捉える。</li> <li>・ 自分の好きな場面とその理由を考える。</li> </ul>	

二	3	場面の様子や登場人物の行動から,子どもたちの様子を想像する。	・一の場面を読む。 ・音読を工夫する。	知②語や文のまとまりに注意して音読しているかを確認する。(音読)
	4		・二の場面を読む。 ・音読を工夫する。	知①会話は「」で示すことを知り正しく表記しているかを確認する。(記述)
	5		・三の場面を読む。 ・音読を工夫する。	思①場面の様子や登場人物の行動など,内容の大体を捉えているかを確認する。(記述・発言)
	6 本時		・四の場面を読む。 ・音読を工夫する。	
	7		・五の場面を読む。 ・音読を工夫する。	思②場面の様子から登場人物の行動を具体的に想像している。(記述・発言)
三	8 9	発表会に向けて音読練習をし,発表会をする。	・劇に入れるセリフの内容や役割を決めて練習する。	思②想像を広げながら音読を工夫しているかを確認する。(音読・観察)
	10		・音読を2年生に向けて発表する。	態①今までの学習を生かして,想像したことを友だちに伝えようとしているかを確認する。(音読・行動)

## 7 本時について

### (1) 本時の目標

くじらぐもと子どもたちの様子について,想像を広げて読み,読み取ったことを生かして音読をすることができる。

### (2) 研究内容1【主体的に自分の考えをもち,表現するための手立ての工夫】に関わって

国語部会では,表現力の定義を「自他とのかかわりをもとに,自分の考えを相手に分かりやすく伝えようとする力」とした。

本時ではまず,主語と述語の関係を正確にとらえながら,場面の様子や登場人物の行動を読み取らせる。次に,叙述や挿絵から想像した会話を自分の言葉でまとめさせる。学習のまとめとして想像した会話を入れて音読させることで,主体的に学習にむかう態度を育てていきたい。

(3) 本時の展開

段階	学習内容	留意点(○) 評価規準
導 入 (5分)	1 前時の想起をする 2 学習課題を確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             みんなは、どんなおはなしをしたのでしょ。           </div>	○子どもたちがやっとかじらぐもに乗ることができたことを想起させる。 ○前時とは違い、子どもたちはくじらぐものの上にいることを確認する。
展 開  (35分)	3 見通しをもつ (1) 本時の学習の流れを確認する。 (2) 学習場面を音読する。 4 学習課題を解決する (1) くじらぐもの様子を読み取る。 (2) 子どもたちが歌を歌ったわけを考える。 (3) 子どもたちがどんな話をしたのか、想像したことをカードに書く。 5 学習課題についてまとめる (1) 空の旅の楽しさについてまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             空のうちはきもちがいいな。              みんなといっしょでたのしいな。              どこまでもいきたいな。           </div> (2) まとめの音読をする。	○くじらぐもや子どもたちの行動をもとに、子どもたちが雲の上で話したことを想像するという見通しをもたせる。 ○くじらぐもが子どもたちを乗せ、空を自由に泳いだことを読み取らせる。 ○子どもたちがどうして歌を歌ったのかを想像させ、空の旅の楽しさを確認する。 ○くじらぐもの上から見えたものや、雲の上ではどんな気分なのか想像し、子どもたちがどんなお話をしたのかを挿絵を使って考えさせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <b>研究内容1に関わって</b>              叙述や挿絵から想像したことをもとに、登場人物になりきって会話文を考えさせる。           </div> ②場面の様子から登場人物の行動を具体的に想像している。(記述・発言) ○想像した会話文を本文に付け加えて音読させる。
終 末 (5分)	6 本時の学習を振り返る <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             ○○さんのいったことを聞いて、たのしさがわかりました。           </div>	○頑張ったことや、友だちの考えでよかったことなどを振り返らせ、学びを実感させる。